

徳島県事前復興計画策定ガイドライン【概要】

ガイドラインの目的

大規模災害が発生した際には…

- ・応急・復旧対応等に時間と人手を要し、復興計画の策定に着手できない
- ・人材や技術的ノウハウ等の不足、住民との合意形成が進まない等

復興の長期化による…

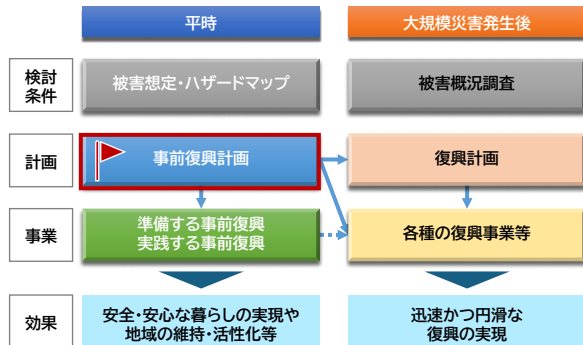
- ・人口減少・高齢化の加速化
- ・地域の衰退 等

南海トラフ巨大地震や中央構造線・活断層地震を見据え、
本ガイドラインの作成により
市町村における事前復興計画の策定を後押し

事前復興計画とは

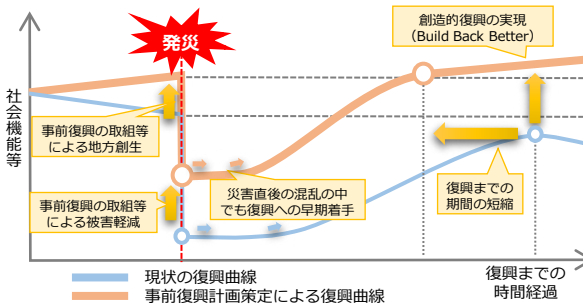
■事前復興計画の役割等

- ・大規模災害発生後に策定を行う「復興計画」の基礎となるもの
- ・「迅速かつ円滑な復興の実現」に向けた備えとなるもの
- ・市町村における事前復興の取組推進における指針となるもの



■事前復興計画の策定により期待される効果

- ①復興までの期間短縮
- ②創造的復興の実現
- ③平時における事前復興の推進



徳島県における事前復興の基本的な考え方

市町村の事前復興計画策定の参考となるよう、徳島県における事前復興の基本的な考え方として、基本理念や復興方針、前提となる津波浸水想定、復興土地利用、復興パターン等を整理

基本理念

- 地方創生の視点を持った創造的「事前復興」の推進
- 自助・共助・公助の連携
- 地域コミュニティの維持・再生・育成

分野別の復興方針

- すまいの再建
- 暮らしの再建
- 産業・経済の復興
- 安全・安心な地域づくり

復興パターン

- 徳島県の地域特性や被害特性等を踏まえ、8つのパターンに分類して復興パターンを整理

市町村における事前復興計画の策定

市町村の事前復興計画策定を後押しするため、検討の手順や体制、事前復興計画の記載項目ごとの検討方法等を整理

復興ビジョン

市町村全域等を対象に、大規模災害発生後の復興の目標や土地利用に関する基本方針、分野別の目標などを定める。

事前復興まちづくり計画

甚大な被害を受けるおそれのある地域・集落ごとに、大規模災害発生後の復興の目標や復興まちづくりの姿などを定める。

復興プロセス

大規模災害の発生から復興までのプロセスを整理し、復興に取り組む際の行動指針を定める。

復興事前準備

上記の検討を通じて、高台移転をはじめとする事前復興の推進を図るため、現在から取り組む施策・事業等を定める。

【事前復興計画の検討事項の一例】

■復興パターンの検討

- ・津波浸水深や地域特性・被害特性等に応じた、安全なすまいの確保等に向けた復興パターンの検討

